

# KVK キッチンシャワー 取り付け説明書・取扱説明書

## PZS203

- 取り付け前・ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、正しく取り付け・ご使用ください。  
この説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

### 取り付け方法

本製品はKVK製水栓の吐水口ねじ部が金属製外ねじ(ねじサイズ：W22-20)仕様の製品に取り付けできます。

#### 取り付け対象製品品番

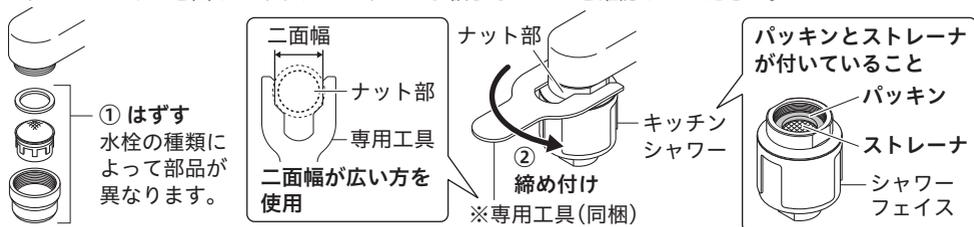
KM550、KM556、KM300A5、KM500A、KM506AE、KM507AE、KM340A、KM326A、KM327A、KM336A、KM536A、KM346、KM347、KM8G、KM17G、KM5000(T)、MSK110K(T)、KM5011(T)、KM5091(T)等

〈例：KM5011場合〉

- 吐水口から各部品を取りはずします。(使用部品は製品によって異なります。)
- キッチンシャワーにパッキンとストレーナが付いていることを確認し、吐水口に手締めにて軽くねじ込んだ後、同梱の専用工具で約1/4回転増し締めします。(締め付けトルクの目安は約250N・cm)  
専用工具は二面幅が広い方をナット部に掛けて使用してください。

【△注意】同梱の専用工具以外で増し締めしないでください。傷がついたり、施工不良により漏水のおそれがあります。

- シャワーフェイスを回してキッチンシャワーが緩まないことを確認してください。



※専用工具は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

### 安全上のご注意

- 80℃より高温のお湯を通水させないでください。器具が破損し、やけどをするおそれがあります。
- 高温のお湯をお使いのときは、シャワー・泡まつ吐水の切換操作をしないでください。  
キッチンシャワーは高温になっており、やけどをするおそれがあります。
- 分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。  
器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- [寒冷地域でご使用の場合]凍結中は切換操作をしないでください。器具が破損するおそれがあります。  
解凍後に切換操作を行ってください。

### ご使用方法

キッチンシャワーのシャワーフェイスを右に回すとシャワー、左へ回すと泡まつ吐水になります。

【△警告】切換操作時はシャワーフェイス(白い部分)以外に触れないでください。やけどをするおそれがあります。



#### 止水時の水滴について

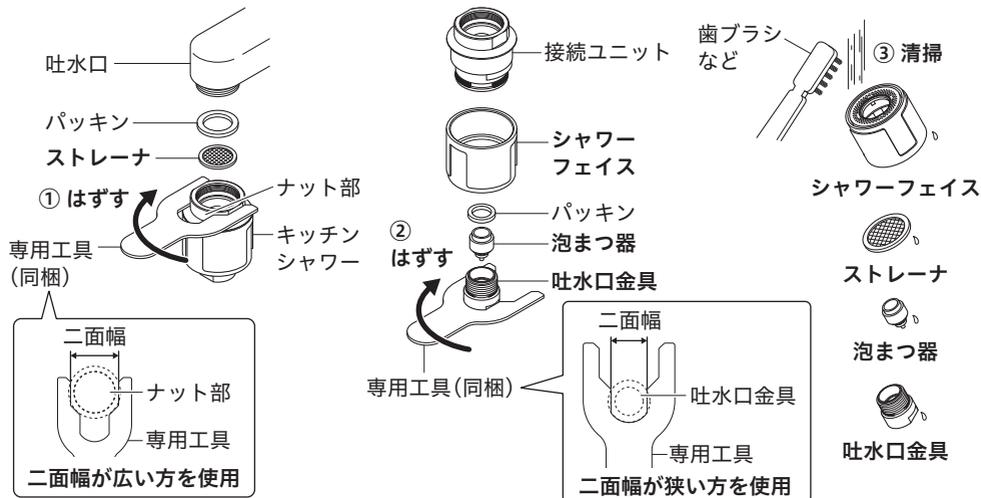
止水した時、キッチンシャワーから水滴が落ちることがありますが、これは内部の残留水です。異常ではありません。



# お手入れ方法

キッチンシャワーのストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器・吐水口金具にゴミなどがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、定期的に清掃してください。

- ① 同梱の専用工具を使用して吐水口からキッチンシャワーを取りはずし、パッキン・ストレーナを取り出します。専用工具は二面幅が広い方をナット部に掛けて使用してください。
- ② 専用工具で吐水口金具をはずし、シャワーフェイス・泡まつ器を取りはずします。専用工具は二面幅が狭い方を掛けて使用してください。
- ③ ストレーナ・シャワーフェイス・泡まつ器・吐水口金具をブラシで水洗いします。清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。



## 〈泡まつ器・シャワーフェイス清掃後の組み立て〉

- ① 吐水口金具内の部品（整流板・整流網）が下図のように傾いている場合は、上から軽く押して水平に戻してください。傾いたまま取り付けると、水が斜めに出ることがあります。



- ② 吐水口金具に泡まつ器を入れ、パッキンをはさみ、接続ユニットにシャワーフェイスをはめてから接続ユニットに手締め後、同梱の専用工具で約1/3回転(約120度)増し締めます。(締め付けトルクの目安は約75N・cm) 専用工具は二面幅が狭い方を掛けて使用してください。組み立てる際にパッキンにゴミの付着やねじれがないことを確認してください。

### 【お願い】

吐水口金具を締め付ける際は、締め付けすぎないでください。締め付けすぎると部品の破損または切替作動が重くなるおそれがあります。

